

授業科目名	ヒューマンハイパフォーマンスを引き出す最新スポーツ科学 (1)		
科目番号	1C24201	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 1
担当教員	征矢 英昭, 大森 肇, 岡本 正洋		
授業概要	スポーツ科学の進歩はオリンピックを目指すアスリートのみならず、日常生活を営む我々においても有益である。特に近年、続々と明らかにされるスポーツ科学の知見は、現代社会が直面する青少年の体力や意欲の低下、アスリートやビジネスマンのオーバーワークによる生産性と意欲の低下、高齢者の健康や生きがいの低下など、「人と社会の活力低下問題」解決につながる可能性を秘める。本講義では、認知機能を高める運動プログラムや意欲を高める運動用具など、心身の活力を最大限に引き出す(ヒューマンハイパフォーマンス)最先端の生命・認知脳科学を導入した次世代健康スポーツ科学について紹介する。		
備考	(体育開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台 学際的科目		
教育目的	人の能力には体力や技術だけでなく、ストレス対処能、コミュニケーション能、認知パフォーマンス、代謝能力など様々な能力があるが、それらを最大化するためには、これまでの運動、栄養、休養(睡眠)の質と量を最適化しながら、適切なトレーニングを開発し、用いることで実現できる、その概念や基盤技術について考える。		
到達目標	ヒューマン・ハイ・パフォーマンスを引き出す基盤技術や方略について理解する		
キーワード	心身の活力の最大化, ヒューマン・ハイ・パフォーマンス, 最先端健康スポーツ科学, 最先端生命科学, 認知脳科学, ストレス, オーバートレーニング, 中枢疲労, 高意欲		
各回授業計画	<p>第1回【4月18日 征矢英昭 体育系】 [人の能力を最大化するヒューマン・ハイ・パフォーマンス(オリエンテーション)]</p> <hr/> <p>第2回【4月25日 坂入洋右 体育系】 [身心のセルフコントロール](ストレス)]</p> <hr/> <p>第3回【5月9日 武田 文 体育系】 [高齢者の精神健康・ストレス対処力を高める身体活動](ストレス)]</p> <hr/> <p>第4回【5月16日 徳山薫平 体育系】 [チャンピオンの遺伝子](スポーツ医科学)]</p> <hr/> <p>第5回【5月23日 前田清司 体育系】 [トレーニングと血管](スポーツ医科学)]</p> <hr/> <p>第6回【5月30日 西保 岳 体育系】 [環境とスポーツ](運動生理学)]</p> <hr/> <p>第7回【6月6日 大森 肇 体育系】 [スポーツパフォーマンスを高めるアミノ酸サプリメント(運動生理学)]</p> <hr/> <p>第8回【6月13日 西嶋尚彦 体育系】 [アスリートの才能を引き出すテスト技術と ICT 活用(スポーツと技術)]</p> <hr/> <p>第9回【6月20日 榎本靖士 体育系】 [ケニア人長距離選手の強さの秘密(コーチング)]</p> <hr/> <p>第10回【6月27日 関子浩二 体育系】 [ヒューマンハイパフォーマンスを創造するスーパートレーニング(コーチング)]</p>		
履修条件	秋期も履修することで全体像を理解してもらいたい		
成績評価方法	A 出席率 B 受講カードの提: 講義内容の理解、課題への興味、関心、考察力 C 課題レポート: 理解、応用力、創造力 A, B, C を総合的に評価する		
授業外における学習方法	体芸図書館の蔵書を読む、担当教官への質問と議論(オフィスアワーやメールの利用)		
教材・参考文献	征矢ら編著、使えるスポーツサイエンス、講談社サイエンティフィック 征矢、尾懸 監訳、中長距離の科学的トレーニング、大修館書店 勝田、征矢編著、運動生理学 20 講、朝倉書店 「体育の科学」(月間)、杏林書院など		

オフィスアワー・連絡先	征矢 英昭 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること 体育系 A303 0298532620 hsoya at taiiku.tsukuba.ac.jp http://www.tsukuba-brainfitness.jp/ 大森 肇 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること ohmori at taiiku.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	なし

授業科目名	心の実験室 1		
科目番号	1C07011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	山田 一夫		
授業概要	一口に心理学といっても、様々な専門分野がある。本講義では、各分野の研究から身近なわかりやすいトピックを選び、関連した著名な実験や調査、事例などから得られた知見を、研究方法も含めて解説する。		
備考	(心理開設) 人間学群学生の受講は認めない。 【受入上限数 200 名】		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	心理学は高校までの授業にはありません。皆さんは心理学にどのようなイメージをいただいていますか。一口に心理学といっても、様々な分野があります。本講義は、それぞれの分野から独立したトピックを紹介し、心理学の学問としての面白さを幅広く理解してもらおうという趣旨で企画されました。心理学がどのような問題をどのような方法で追究してきたのか、またその結果、どのようなことが明らかになってきたのか、代表的な実験、観察、調査、心理測定などの理解を通して知ってもらいたいと思います。		
到達目標	1 心理学の研究トピックを幅広く学習することを通して、心理学がどのような学問であるのか、その全体像を理解できるようになる。		
キーワード	心理学, 心, 行動, 社会, 脳・神経		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日 山田一夫 人間系】 [イントロダクション・恐怖記憶をいかに消すか 情動記憶の消去と再燃] 情動を伴う記憶、なかでも恐怖記憶はとても強固であり、それを消すことは難しい。その消去は PTSD や恐怖症の治療に役立つと考えられることから、恐怖記憶の消去のメカニズムについて動物実験から得られた知見を中心に紹介します。</p> <hr/> <p>第 2 回 4 月 25 日 加藤克紀 人間系】 [母子絆:アタッチメントの形成] ハローウがアカゲザルで行った母子の絆に関する有名な研究とその後の発展を中心として、幼少期の成育環境が心に与える影響について、動物実験で得られた知見を主に紹介します。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 湯川進太郎 人間系】 [感情をとりまく諸相 (1)] 「感情」をキーワードに、パーソナリティの傾向や障害、我々人間が陥りやすい心理状態やストレスについて、いくつかの事象を例にあげて紹介します。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 湯川進太郎 人間系】 [感情をとりまく諸相 (2)] 「感情」をキーワードに、パーソナリティの傾向や障害、我々人間が陥りやすい心理状態やストレスについて、いくつかの事象を例にあげて紹介します。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 宇佐美慧 人間系】 [心理測定の理論と心理検査] 心理学分野の定量的な研究において測定されるデータにはどのような特徴と問題点があるかについて、心理測定の理論から説明します。また、特に臨床検査や入学試験、資格試験、性格検査などの広義の心理検査においてこの測定理論がどのように活用されているか紹介します。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 原田悦子 人間系】 [年を取るってどうということ?認知的加齢の心理学] 今、日本は超高齢社会です。高齢者とみなさんたちは何が違い、何が同じなのでしょう?認知心理学が明らかにしてきた高齢者の心的特徴を知って理解を深めながら、これからの「高齢者と共に社会を動かしていく」ことについて考えていきましょう。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 佐藤有耕 人間系】 [青年期と孤独感 (1)] 孤独感 (loneliness) は昔も今も、青年期の代表的な感情です。大学 1 年生は、孤独感を感じる人が多いのでしょうか。自分で孤独感の質問紙に回答したうえで、孤独感について心理学的に考えてみましょう。</p>		

	<p>第8回【6月13日 佐藤有耕 人間系】 [青年と孤独感(2)] (第7回の続き)</p> <hr/> <p>第9回【6月20日 伊里綾子 立正大学】 [自分の気持ちと上手に付き合うー認知行動療法(1)] 同じ出来事を経験したとしても、怒ったり、悲しんだり、出来事に対する反応は人それぞれです。このような違いが生じる背景には、物事の捉え方のクセが潜んでいます。心理療法の一技法である認知行動療法について学びながら、自身の物の見方のクセに気付き、それと上手に付き合う方法を考えましょう。</p> <hr/> <p>第10回【6月27日 伊里綾子 立正大学】 [自分の気持ちと上手に付き合うー認知行動療法(2)] (第9回の続き)</p> <hr/> <p>第11回【7月4日 山田一夫】 [期末試験]</p>
履修条件	人間学群学生の受講は認めません。 「心の実験室1」「心の実験室2」をあわせて履修すると、より総合的な理解が得られる。
成績評価方法	評価方法(評価割合)及び評価基準 A: 定期試験(100%)... 筆記試験による評価 B: 出席(欠格条件)...2/3以上の出席 到達目標1 Aを「より重視」
授業外における学習方法	講義の内容に興味を持ったら、関連した書籍等を積極的に読んでみてください。
教材・参考文献	必要に応じて授業中に紹介します。
オフィスアワー・連絡先	kayamada at human.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	授業時間内・授業時間外を使う、実験や調査の協力を依頼されることがあります。それらを実体験することは、皆さんの学習を深めることにつながり、また皆さんの協力は心理学のさらなる発展の大事な礎です。積極的な協力を強く期待します。

授業科目名	障害と共に生きる I		
科目番号	1C08011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	岡崎 慎治, 塩川 宏郷, 柿澤 敏文, 加藤 靖佳, 廣田 栄子, 宇野 彰, 吉野 真理子, 小島 道生, 山中 克夫		
授業概要	障害科学が蓄積してきた知見と最新の研究を主に医学・生理学・心理学的視点から紹介する。ヒトには個体として生存し、種を保存する目的でいろいろな機能が備わっている。何らかの原因でこれらの本来の機能が果たせなくなるとさまざまな障害が生じてくる。このさまざまな障害の様態とその原因を学ぶことを通して、人間の生命の原理を探求する。		
備考	(障害科学開設) 人間学群学生の受講は認めない。 【受入上限数 200 名】		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	本講義では、障害科学が蓄積してきた知見と最新の研究を、主に医学・生理学・心理学的視点から紹介する。ヒトには個体として生存し、種を保存する目的でいろいろな機能が備わっている。何らかの原因でこれらの本来の機能が果たせなくなるとさまざまな障害が生じてくる。このさまざまな障害の様態とその原因を学ぶことを通して、人間の生命の原理を探求する。		
到達目標	1 障害のある人の医学・生理学的側面を理解する。 2 障害とは何かについて、自らの考えを持ち説明できる。		
キーワード	障害科学, 障害理解		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日 岡崎 慎治 人間系】 [認知発達と障害-子どもの生理心理と障害-] 行動のみでは捉えにくい認知処理過程を明らかにする手法としての生理心理的手法について概説し、子どもの認知発達と障害との関連について考察する。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 塩川宏郷 人間系】 [発達障害の理解] 発達障害は、発達の遅れ、偏り、歪みの特徴とする状態を指す。その中で、知能障害を伴わない発達障害である、高機能自閉症やアスペルガー症候群、注意欠陥・多動性障害などは、行動や精神面の問題として表面化しやすい。理解されにくいこうした発達障害について概説する。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 小島 道生 人間系】 [認知発達の障害と発達支援] 知的障害および学習障害の人の認知の特徴、およびその生活行為への影響について解説し、また、有効な発達支援方法を紹介する。これらを通して、人間全般に共通する認知発達の心理学的メカニズムについて考える。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 柿澤 敏文 人間系】 [視覚障害の理解] 視覚からの情報がまったく得られない、あるいは部分的に欠如している場合には、人間の行動にどのような影響が生じるのであろうか?視覚障害の定義に端を發し、発達への影響、コミュニケーションへの影響などについて解説し、その理解を促す。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 加藤 靖佳 人間系】 [聴覚障害の理解] 聴覚障害者が使用している聴こえの補聴装置として、補聴器や人工内耳がある。補聴器は音を増幅する装置である。人工内耳とは重度の感音性難聴を対象として開発された装置である。聴覚障害者が補聴装置を通して聴いている音の世界とはどのようなものであろうか。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 廣田 栄子 人間系】 [音声言語障害の理解] 音声言語の障害について、基礎的な生理学的知見に基づいて、状態像と子どもの生活や成長に及ぼす影響を概説する。さらに、言語障害学的診断と指導法など心理学的アプローチについて理解を促し、今後の指導と研究の発展すべき方向性について言及する。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 宇野 彰 人間系】 [文字言語障害の理解] 見えていても先天的に文字を習得できない障害や、後天的な脳の損傷によって生じる読み書き障害について、障害のある方の実態、脳の働きと読み書き障害との関連、障害のメカニズムなどについて概説する。</p>		

	<p>第8回【6月13日 吉野 真理子 人間系】 [高次脳機能障害の理解] 後天的に脳損傷を被ると、言語、記憶、注意、情動、行為、認識など、さまざまな認知機能の障害が生じる。それらの障害により具体的にどのような困難がもたらされるかについて概説する。</p> <hr/> <p>第9回【6月20日 山中 克夫 人間系】 [認知症高齢者の支援] 認知症の人々の認知・行動的な特徴と、本人や家族のための相談支援や心理・社会的な介入実践について紹介する。</p> <hr/> <p>第10回【6月27日 岡崎 慎治 人間系】 [まとめ] 講義全体のまとめを行うとともに、受講生自らの学びを振り返り障害と共に生きる社会とは何かについて考察する。</p> <hr/> <p>第11回【7月4日 岡崎 慎治 人間系】 [期末試験]</p>
履修条件	人間学群学生の履修は認めない。 障害とともに生きる II を合わせて履修することでより総合的に理解できる。
成績評価方法	定期試験 (レポート) 出席 (2/3 以上の出席)
授業外における学習方法	授業配付資料と紹介文献の精読、受講者同士あるいは受講者以外との討論で問題意識を深めること。
教材・参考文献	授業時に適宜紹介する。
オフィスアワー・連絡先	火曜 11:30 ~ 12:15 人間系棟 B 棟 225 029-853-6804 sokazaki@human.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	講義で提示された内容をもとに積極的に自らの思考を深めてほしい。

授業科目名	筑波大学から診る環境問題		
科目番号	1C10131	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	内海 真生		
授業概要	21 世紀を生きる者として、地域から地球規模まで様々なレベルの環境問題について知り、考え、行動していくことは必須の要素となる。現在、筑波大学は学内の環境改善と保全に積極的に取り組んでいる他、茨城県、つくば市と共同で「環境都市つくば」を目指し様々な取り組みを行っている。本授業は、筑波大学キャンパスの環境問題から環境都市構築の為の様々な諸課題、地球規模の環境問題について各専門家からの講義、また、学内の環境改善活動に実際に携わる体験、を通じて、筑波大生として様々な環境問題に対する俯瞰力と行動力を身につける一助になることを目的に開講する。		
備考	(資源開設) 【受入上限数 150 名】		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	21 世紀を生きる者として、地域から地球規模まで様々なレベルの環境問題について知り、考え、行動していくことは必須の要素となる。現在、筑波大学は学内の環境改善と保全に積極的に取り組んでいる他、茨城県、つくば市、つくば市内独法研究所と共同で「環境都市つくば」を目指し様々な取り組みを行っている。本授業は、筑波大学キャンパスの環境問題から環境都市構築の為の様々な諸課題、地球規模の環境問題について各専門家からの講義、また、学内の環境改善活動に実際に携わる体験、を通じて、筑波大生として様々な環境問題に対する俯瞰力と行動力を身につける一助になることを目的に開講する。		
到達目標	21 世紀を生きる者として、地域から地球規模まで様々なレベルの環境問題に関する知識、環境保全の考え、環境問題への取り組みに対する意識向上と社会人として生活していく上でのマナー。		
キーワード	エコキャンパス, つくば環境スタイル“ SMILe ”, 交通, 藻類燃料, 温暖化, 砂漠化, スマートグリッド, グリーンイノベーション, 環境都市		
各回授業計画	<p>担当講師の都合などにより授業内容や授業順番などが変更になる場合があります。ご了承ください。</p> <p>第 1 回【4 月 18 日 内海真生 (生物資源・准教授)】 [筑波大学:エコキャンパスへの取り組み] 筑波大学で行われているエコキャンパス活動やその他の環境保全活動について、とその成果・波及効果について筑波大学環境報告書等を参照しながら概説する。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 内海真生 (生物資源・准教授)】 [エコステーションでのゴミ分別作業体験] エコステーションでのゴミ分別作業を実体験してもらい、学内のゴミ問題、地域のゴミに対する対応、について考える契機を与える。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 鈴木勉 システム情報系】 [筑波大学内の交通問題を考える] 筑波大学およびつくば市で実施・計画されている都市・交通関係の施策、および学内の交通問題の現状から、よりよい都市・交通に関して考える契機を与える。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 山中 勤 (生命環境系・准教授)】 [つくば環境スタイル“ SMILe ” 次世代環境教育について考える] 国の環境モデル都市に選定されたつくば市での環境都市を目指した取り組みおよびその中核となる次世代環境教育について概説してもらい、地域社会の環境への取り組みを知る契機を与える。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 渡邊信 生命環境系・教授】 [未来を拓く藻類バイオマス] 筑波大学で取り組む藻類燃料プロジェクトの目的と現状、将来展望から世界の再生可能燃料の動向と未来について考える契機を与える。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 内海 真生 生命環境系・准教授】 [地域および地球規模の水問題] 地球上の人口の急増に伴い、生命を維持するための最重要な資源である水の安全性、持続性が脅かされている。地域および地球規模の水問題について概説し、水の持続的利用に関して考える契機を与える。</p>		

第7回【6月6日 石田政義 システム情報系】
[新しい電力網:スマートグリッドと水素・直流給電]
福島第一原発事故を経て、再生可能エネルギー利用と共にスマートグリッドや直流給電による電力供給体制構築が検討されている。水素利用を含めた現在の状況を概説し、未来の電力供給に関して考える契機を与える。

第8回【6月13日 内海 真生 生命環境系・准教授】
[グリーンイノベーションと地域連携]
日本の成長戦略の柱の一つであるグリーンイノベーションと地域連携のあり方について農業活動を視点を概説する。

第9回【6月20日 藤野純一 国立環境研究所・主任研究員】
[低炭素社会:日本の動向と各国・各都市の取り組み]
低炭素社会に向けた日本のエネルギー・温暖化対策の概要や、国際的な連携を通じた各国・各都市の取り組み事例を概説し、これからの国際連携や世界の持続可能な低炭素社会のあり方を考える。

第10回【6月27日 内海真生 生命環境系・准教授】
[筑波大学から診る環境問題]
これまでの授業のまとめ。

第11回【7月4日】
期末試験

履修条件	なし
成績評価方法	各回の小テストやレポートで総合評価する。但し、出席率 70% 未満のものやレポート等未提出者には単位を与えない。
授業外における学習方法	なし
教材・参考文献	特に指定はない。
オフィスアワー・連絡先	随時 (いつでもドアは開いています-但しアポイントメントは必要です)
履修者へのメッセージ	エコステーションでの作業を行う日は、動ける服装をお願いします。

授業科目名	都市・地域・環境を探る I		
科目番号	1C17101	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	大澤 義明, 藤井 さやか		
授業概要	近年の世界的な社会経済状況の激変により、私たちの住宅や、生活する都市、地域の環境は様々な変化の圧力を受けている。この変化を受動的に受け止めるのではなく、変化のメカニズムを理解し、望ましい環境を形成する主体的な知力を身につけることが求められている。I では、筑波研究学園都市を出発点として、都市の成立や仕組み、構成要素とその適正配置などの観点を通じて、身近な環境から都市・地域・環境の問題を考える。		
備考	(社工開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	近年の世界的な社会経済状況の激変により、私たちの住宅や、生活する都市、地域の環境は様々な変化の圧力を受けている。この変化を受動的に受け止めるのではなく、変化のメカニズムを理解し、望ましい環境を形成する主体的な知力を身につけることが求められている。I では、筑波研究学園都市を出発点として、都市の成立や仕組み、構成要素とその適正配置などの観点を通じて、身近な環境から都市・地域・環境の問題を考える。		
到達目標	A) 身近な都市・地域・環境の問題を発見できる B) 発見した問題について、その原因や影響を分析し、説明できる C) 問題を解決するための方法を考え、提案 (プレゼンテーション) できる		
キーワード	都市, 地域, 環境, まちづくり, つくば		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日 藤井さやか システム情報系】 [総論:つくばの特性と都市計画の仕組み] 筑波研究学園都市の特質、歴史的に造られてきた都市との相違について概説するとともに、今学期の課題について解説する。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 藤川昌樹 システム情報系】 [学園都市の計画とつくば市周辺の地域と街・村 1] 学園都市建設地一帯は長い時間の中で形成されてきた地域であった。この地域は如何なる秩序をもっていたのか、学園都市の建設は先行する地域秩序にいかん規定され、また影響を与えたのかについて考える。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 藤川昌樹 システム情報系】 [学園都市の計画とつくば市周辺の地域と街・村 2] 学園都市建設地一帯は長い時間の中で形成されてきた地域であった。この地域は如何なる秩序をもっていたのか、学園都市の建設は先行する地域秩序にいかん規定され、また影響を与えたのかについて考える。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 小山雄資・鹿児島大学】 [つくばにおける住宅地の形成と再編] 筑波研究学園都市における住宅地開発の系譜とこれからの課題について解説する。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 藤井さやか システム情報系】 [公務員宿舎一斉廃止とこれからのつくば] つくばの生活環境・都市景観を支えてきた公務員宿舎の一斉廃止がつくばのまちに与える影響とこれからのまちづくりについて考える。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 温井達也 プレイスメイキング研究所】 [つくばのまちのブランディング] つくばの住宅地の景観・住環境管理に取り組んできた経験から、つくばのまちのブランディングについて考える。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 大澤昭彦 東京工業大学】 [建物高さと都市景観] 都市の景観について、建物高さの観点から考える。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日 雨宮護 システム情報系】 [住宅地の安心・安全を考える] 安心して生活を送るのに欠かせない防犯、防災の観点から、つくばの住宅地の環境を考える。</p>		

	<p>第9回【6月20日 谷口綾子 システム情報系】 [つくばの交通まちづくり] 都市における経済・生活活動に大きな影響を与える交通に着目し、筑波研究学園都市の交通処理の考え方について講義を行う。</p> <hr/> <p>第10回【6月27日 担当教員全員】 [講評会] 今学期の課題について講評するとともに、数名の講師による討議を行う。</p>
履修条件	「都市・地域・環境を探る II 及び III」とあわせて履修すると、より総合的な理解が得られる。
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・60%以上の出席が必須(遅刻は減点対象となる) ・授業内課題及び授業態度(60%)・・・講義内容の理解度及び積極的な参加姿勢 ・課題(レポート)(40%)・・・問題発見と解決策の独創性、説明力、表現力、プレゼンテーション力
授業外における学習方法	講義中で紹介する文献・資料を読み、いろいろなまちを実際に歩いて観察する。
教材・参考文献	講義の中で、適宜指定する。 期末試験は実施しない
オフィスアワー・連絡先	<p>大澤 義明 osawa at sk.tsukuba.ac.jp http://infoshako.sk.tsukuba.ac.jp/~toshiw3/Labo/Koshizuka/</p> <p>藤井 さやか fujii at sk.tsukuba.ac.jp</p> <p>各回講師の連絡先は、講義中に案内する。</p>
履修者へのメッセージ	身近な都市・地域・環境に興味関心を持ち、普段の生活を振り返りながら講義に取り組んでほしい。

授業科目名	性と生殖の看護学		
科目番号	1C22011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	村井 文江, 川野 亜津子, 山海 千保子		
授業概要	自分の健康や健康問題に対処するための基本的な知識や技術を, 人の「性と生殖」に焦点を当てて学習する。すなわち, 人の「性と生殖」を身体面, 心理面, 社会面, 行動面から学習することによって性科学として位置づけるとともに, 自分の性を自分で管理することができるようになるきっかけとする。		
備考	(看護開設) 看護学類生の履修は認めない。 【受入上限数 150 名】		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	人間の性は生物としての器官や生殖を意味するだけでなく、他人との人間的つながり、愛情、思いやりなど社会・心理的側面、性行動など、幅広い概念を包括しています。本講義は看護学系の教員により、看護学の視点から人の性と生殖および生命の誕生と子どもが健康に成長・発達する過程とその条件に焦点を絞り、大学で学ぶ若者の目線で性と生殖についてわかりやすく講義します。とりわけ、親になるための準備期でもある学生（青年期）に必要な知識や考え方について多く扱います。		
到達目標	1 性と生殖を科学的に学ぼうとする姿勢ができる 2 自分の人生のなかで性や生殖を考えることができる 3 性や生殖に対する偏見がなくなる		
キーワード	性差, 性行動, 妊娠, 出産, 親子関係, 不妊, 生殖のコントロール		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日 村井文江 医学医療系】 [ガイダンス 人にとって性とは何か] 本講義の目的と学習課題を明らかにする。 男と女はどこが違うか、生物学、心理学、社会学的方法で性をとらえるとともに、性同一性障害について学ぶ。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 村井文江 医学医療系】 [生殖器の構造と生理 性差と性機能] 本講義を理解するために最低限必要な解剖と生理を学ぶとともに、自分の性について考える。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 川野亜津子 医学医療系】 [受精と妊娠] 妊娠した女性の健康問題と胎児の発育について学ぶ。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 村井文江 医学医療系】 [出産の仕組みと生まれるための胎児の戦略] 子どもはどのように生まれてくるかについて学ぶとともに、昨今の出産事情について知る。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 川野亜津子 医学医療系】 [子どもの発達と親子関係] 新生児期の親と子の相互作用、乳幼児期の愛着形成が子どもの発達に及ぼす影響について学ぶ。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 山海千保子 医学医療系】 [親と子の関係 乳幼児虐待、育児放棄] 親であれば誰でも子どもを愛し、育てることができるのだろうか、また、子どもがもし親の十分な世話を受けないで育ったらどうなるのだろうか、子どもの育つ環境について考える。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 村井文江 医学医療系】 [性の現状と意思決定] 男女の性行動、若年妊娠、デート・DV を題材に、「性のコントロール」や「性の意思決定」の意義について学ぶ。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日 村井文江 医学医療系】 [責任ある性行動のための知識と技術] 責任ある性行動をとるために必要な知識・技術としての性感染症予防の方法と避妊法の実際について学ぶ。</p>		

	<p>第9回【6月20日 山海千保子 医学医療系】 [生殖のコントロール 不妊治療] 人口と国策、世界の母子保健の現状について学ばなかに、女性や子どもの生活する社会環境について考える。</p> <hr/> <p>第10回【6月27日 村井文江 医学医療系】 [生殖のコントロール 性に関する倫理的課題] 胎児診断・治療、不妊治療技術、人工妊娠中絶など、生殖に関連の深い倫理的課題について考える。</p> <hr/> <p>第11回【7月4日】 [期末試験] 筆記試験は行いません。 レポート作成のための資料収集・整理の時間とします。</p>
履修条件	看護学類学生の履修は認めない。
成績評価方法	<p>成績評価と方法 評価方法および到達目標 出席:到達目標1・・・ 到達目標2・・・ 到達目標3・・・ 課題レポート:到達目標1・・・ 到達目標2・・・ 到達目標3・・・ :より重視する :重視する</p> <p>評価基準 出席:A+(9回以上)、A(8回)、B(7回)、C(6回)の4段階評価 ただし、授業内容に対する考え等が十分に記載されていない場合は出席回数を0.5でカウントする 課題レポート:A+(大変素晴らしい)、A(素晴らしい)、B(よい)、C(普通)の4段階評価 評価割合(%) 出席50% 課題レポート50%</p>
授業外における学習方法	事前学習は必要ありませんが、授業を受けて興味や関心を持った内容については、関連知識・情報の収集を自学自習により、深めて下さい。
教材・参考文献	1. 特に準備する必要はありません。副読本、資料、参考文献等は授業の中で紹介します。
オフィスアワー・連絡先	<p>メールで予約をとってください 村井文江 fumie_m at md.tsukuba.ac.jp</p>
履修者へのメッセージ	<p>まじめに、真剣に自分の性と生殖を見つめてほしい。 受講生は興味を持ったテーマや疑問点を自ら調べ、学び、思索し、今後の自分自身の性と生殖をどのように捕らえ、自ら管理すればよいかを考えるきっかけにしてほしいと思います。</p>

授業科目名	スポーツを変えた発明		
科目番号	1C24041	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	橋本 佐由理		
授業概要	スポーツ種目とそのルール、技、スポーツ用品などの発明がなければ、スポーツは今日の繁栄を築くことができなかったであろう。本講義では、創出と発明をキーワードとしてスポーツの世界を読み解く。		
備考	(体育開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	数あるスポーツ大会や種目には、それぞれの発案者があり、それを脈々と受け継いで、新たな制度やルールや発明などが加えられて、今日に至っている。		
到達目標	1. スポーツ、レジャー、運動に関連する様々な角度からの発明・発見を知る。 2. 独創的な開発が、世の中にもたらす影響について理解する。 3. 独創的な発明・発見が生まれる原動力は何だったのかを考える。		
キーワード	近代スポーツ、独創性、スポーツイベント、ドーピング、トレーニング、女性スポーツ、障がい者スポーツ、サッカー、栄養サポート、グローバル人材育成、運動		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日 橋本佐由理 体育系】 [オリエンテーション] はじめに授業のねらいと進め方などについて説明する。 [スポーツ・運動の中断予防はできるのか?] スポーツや運動がストレス解消につながることは自明のことである。人々が健康を目指したスポーツや運動でストレスマネジメントをするには、スポーツ・運動が継続されることが必要だ。しかし、強い生活ストレスがかかるとスポーツ・運動が中断されてしまうのだ。スポーツ・運動の中断予防のためにはどうすればいいのかを考える。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 菊幸一 体育系】 [「スポーツ」という発明 Sportization とは何か] スポーツを変えた発明を考える前に、「スポーツ」という発明を考えてみたい。ここでのスポーツは、「近代スポーツ」のことであるが、近代以降の社会は、なぜ「スポーツ」を受け入れたのであろうか? そこには、近代以前の「スポーツ」をわれわれが今日、慣れ親しんでいるスポーツに「スポーツ化 (sportization)」するという発明があったからだと言われている。その社会的価値と意義を再発見する。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 高橋義雄 体育系】 [スポーツイベント経営の発明] スポーツイベントの経営は誰がどんな意図でなされていたのか? ヒッターのオリンピックからスポーツイベントをビジネスに変えたロサンゼルスオリンピック。そして現在の都市間競争におけるスポーツイベントの経営について考える。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 渡部厚一 体育系】 [ドーピング] 19 世紀から繰り返されてきた誘惑の数々。興奮剤、覚せい剤、蛋白同化ステロイドなどはなぜ禁止薬物とされているのか?</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 尾縣貢 体育系】 [パフォーマンスを大きく向上させたトレーニング革命] "日本の女子マラソン陣は、なぜオリンピックのメダルを量産できたのか" "ボルトの驚異的な記録の誕生を支えたものは何なのか"などの疑問をトレーニングおよび技術面から論じる。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 山口香 体育系】 [女性スポーツの発展] 1896 年にアテネで開催された第 1 回近代オリンピックに女性選手の参加は認められなかった。およそ 100 年の時を経て 2012 年にロンドンで開催された第 30 回大会では 26 競技全てに女性が参加した。女性スポーツの発展は当たり前のように進んできたわけではなく、多くの女性アスリートが闘い、勝ち取ってきたものである。</p>		

第7回【6月6日 千葉祇暉 NPO パラエティクラブジャパン】

[障害者がスポーツをやることの意義とは?]

自分が障害者となり、リハビリからスポーツに出会い、その延長でパラリンピックや世界選手権に出場し、それらが自信となり、さらに社会に出て実際に得たモノを体験を踏まえて、広く社会に伝える。

第8回【6月13日 笠野英弘 山梨学院大学】

[プロフェッショナル・スポーツ組織という発明]

日本におけるスポーツ組織は教育組織と企業組織に依存してきたが、1993年Jリーグ発足を契機に、自立的基盤をもったプロフェッショナル・スポーツ組織としての日本サッカー協会が誕生した。これまでの依存したスポーツ組織における様々な問題と、自立した「プロフェッショナル」なスポーツ組織によってそれらの問題を解決し得る可能性について考える。

第9回【6月20日 清野隼 森永製菓株式会社】

[トップスポーツにおける栄養サポートの発展]

国際競技力向上のために行われる栄養サポートは、どのように発展してきたのか?栄養サポートによってトップスポーツに与えた影響と変えたことを、アスリートや指導者の視点を踏まえて、事例を交えながら細解きます。

第10回【6月27日 朴 神田外語大学】

[スポーツと言語教育からグローバル人材育成]

オリンピックやワールドカップで代表されるように、スポーツの国際化、グローバル化が急速に進行している中、大会の円滑な運営には言語・コミュニケーションの分野が大きな課題とされ、外国語が使えるボランティアの存在は必要不可欠である。今回は体育・スポーツがもたらす社会・教育的な機能及び効果を検証すると同時に、語学・コミュニケーション力他、グローバル人材育成に向けた本プログラムの取り組みについて概説する。

履修条件	なし
成績評価方法	出席率とレポート
授業外における学習方法	なし
教材・参考文献	1. 講義ごとに紹介する
オフィスアワー・連絡先	金曜日 13時~15時 hasimoto at taiiku.tsukuba.ac.jp http://www.hcs.tsukuba.ac.jp/~hasimoto/index.htm
履修者へのメッセージ	独創的な発明は、人々の心を動かし、世の中を変えていく力を持つ。皆さんが、自分の独自の発想や発見を大切にしながら、大学生活にも多くの創造的活動を取り入れてほしい。創造的な活動が、皆さん自身のそれぞれの良さを引き出し、社会貢献や社会を動かす力につながっていく。この講義が皆さんの創造的活動へのヒントになることを望んでいる。

授業科目名	競馬の世界		
科目番号	1C24181	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	松元 剛		
授業概要	1862 年にわが国初の競馬が行われて、150 年の歴史を持つ競馬の世界。観客数 10 万人を集めるレースも行われ、その人気は新聞、テレビなどのメディアによる報道でも読み取れる。競馬の世界は、サラブレッドという競走馬に注目が注がれるが、その裏では騎手、厩舎、日本中央競馬会など多くの専門家によって支えられており、この授業ではその舞台裏に迫ってみる。授業内容は、競馬の歴史、世界の競馬、日本の競馬、競走馬のトレーニングと研究、競馬場の施設・運営、厩舎、競技としての競馬、競馬学校の役割、騎手の身体的特性等である。		
備考	(体育開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	競馬の歴史、日本の競馬界、競走馬、競馬場、騎手、スポーツ文化をキーワードに、競馬場の視察(5月21日)を行いながらその現状を捉えていく。		
到達目標	1. 英国を起源する競馬の文化特性について理解する。 2. 「スポーツをする、見る、支える」の観点から、競馬との関わり方について理解する。 3. 競馬産業の理解は、スポーツ産業としての再発見につながることを理解する。		
キーワード	イギリス文化、日本中央競馬会、騎手、競馬場、競馬産業、サラブレッド、スポーツ文化		
各回授業計画	<p>第 1 回【4 月 18 日 松元剛 体育系】 [オリエンテーション・競馬の現状] スポーツ競技としての競馬の成立過程について、学修する。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 松元剛 体育系/高田順一 JRA】 [競技場としての競馬場] 競技場としての競馬場の特性を「スポーツをする、見る、支える」の 3 つの視点で捉える。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 松元剛 体育系/秋谷光昭 JRA】 [世界の競馬] 競馬発祥地のイギリスに加え、主要競馬各国の実情についての解説を通じ、日本の競馬との違いを理解する。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 松元剛 体育系/内藤裕司 JRA】 [日本の競馬] 日本の競馬界をリードしている日本中央競馬会(JRA)。その組織構造について、「馬の一生」を追いながら、それに関わる人々や施設について学ぶ。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 岡部幸雄 JRA】 [騎手の世界] 騎手にとって必要な能力とは? レース回顧を伴いながら、アスリートとしての騎手について学修する。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 松元剛 体育系】 [競馬に関する学術的研究・騎手編] 競馬学校生徒のトレーニング法や騎手のコンディショニング法について、スポーツ科学の見地からその研究概要を解説する。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 高橋敏之 競走馬総合研究所】 [競馬に関する学術的研究・サラブレッド編] 競走馬のバイオメカニクスや運動生理学について、「ディーブインパクト」を事例にして学修する。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日 松元剛 体育系/滝澤康正 JRA】:授業実施日は 5 月 21 日(土) [競馬の観戦法] 東京競馬場(府中市)を訪問し、競馬博物館見学、競馬初心者教室・観戦、バックヤードツアーを実施し、競馬の観戦法を実践的に学ぶ。(5 月 21 日が授業日となります。)</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 20 日 松元剛 体育系/横江信太郎 堀内淳 JRA】 [競馬の広報戦略] レジャーの多様化や長引く不況の影響の中で、競馬事業を安定的に運営していくための施策について、広報や宣伝を通して、その戦略性を学ぶ。</p>		

	<p>第 10 回【6 月 27 日 松元剛 体育系/滝澤康正 JRA】 [グループ討議・プレゼンテーション] 『国際的なスポーツエンターテインメントとしての競馬の創造』とは?これまでの授業内容を通してディスカッションを行う。</p>
履修条件	5 月 21 日 (土) 終日、東京競馬場 (府中市) の視察となります。この視察は必須となりますので、スケジュール調整をお願いします。
成績評価方法	1. 出席点 (10%) 2. 各授業でのレポート (45%) 3. 期末レポート (45%):到達目標 1~3 に関する課題を 1 問ずつ提示する
授業外における学習方法	1. 日本中央競馬会のホームページから各種資料を参照する。 2. 各授業にて指示のあったレポート課題について、授業後に調べる。
教材・参考文献	1. 山本雅男 (2005) 競馬の文化誌. 松柏社 2. 日本中央競馬会のホームページ 3. 山本雅夫 (2013) イギリス文化と近代競馬. 彩流社
オフィスアワー・連絡先	松元剛 月曜 9 時~10 時 月曜 9:00~10:00 体育科学系 B 棟 B317 029-853-2680 matumoto at taiiku.tsukuba.ac.jp http://www.go-matsugen.jp/
履修者へのメッセージ	競馬をスポーツ文化として理解を深めて欲しい。

授業科目名	日本の自然		
科目番号	1C11511	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	春 AB 水 5
担当教員	角替 敏昭, 指田 勝男		
授業概要	ユーラシア大陸の東端に位置する日本列島およびその周辺地域でみられる地質学的現象の特徴とその成因について講義する。特に 46 億年の地球史の中で、日本がどのように位置づけられるか学習する。また、筑波山周辺など身近な地域の変遷についても紹介する。		
備考	(地球開設) 外国人留学生及び帰国生徒に限る。平成 27 年度以前の 7200131 の単位取得者は、授業内容が異なるため履修を可とする。 【受入上限数 40 名】		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台 学際的科目		
教育目的	日本列島の自然に関して、主に地質学的見地からの講義の実施		
到達目標	日本列島とその周辺地域のさまざまな地質現象から、日本の自然のなりたちを総合的に理解する。		
キーワード	プレートテクトニクス, 岩石, 鉱物, 地震, 火山, 化石, 自然遺産, 地質遺産, 関東地域の地質, つくばの地質		
各回授業計画	<p>授業の前半は主に岩石、火山、地震などの日本列島に地下深部における現象 (担当:角替)、後半は地層、化石等の浅部における事象 (担当:指田) について解説する。</p> <p>第 1 回【4 月 13 日】 [イントロダクション] 授業概要の説明</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 20 日】 [プレートテクトニクスの概要] 本授業の理解に必要なプレートの運動メカニズムについて概説する。</p> <hr/> <p>第 3 回【4 月 27 日】 [日本列島周辺の地震活動] 太平洋プレートおよびフィリピン海プレートの沈み込みにもなっており発生する地震のメカニズムについて解説する。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 11 日】 [日本列島周辺の火山活動] 日本は火山国といえる。日本列島に特徴的な火山の活動様式について解説する。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 18 日】 [筑波山周辺の岩石と鉱物] 筑波山の骨格をなす火成岩、変成岩の産状およびそれらの成因を説明する。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 25 日】 [日本列島の自然史と風景] 日本列島の自然のなるたつについて、主に地球史の立場から解説する。</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 1 日】 [日本の化石と地層] 日本には、古生代、中生代、新生代の様々な地層が分布している。その特徴について、化石を中心に説明する。</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 8 日】 [日本の自然遺産と地質遺産] 日本には、様々な貴重な自然遺産、地質遺産がみられる。その概略と意義について説明する。</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 15 日】 [関東地域の地質と自然] 関東地域は、中生代～現代の様々な地質イベントによって形成された。その概略を説明する。</p> <hr/> <p>第 10 回【6 月 22 日】 [つくば周辺の地層と化石] 筑波周辺には、新生代の貝化石やナウマンゾウの産地がある。それらの特徴および地質学的意義について解説する。以上のような多岐にわたる授業により、日本列島における自然の成り立ちについての考察を深める。</p>		

履修条件	外国人留学生及び帰国生徒に限る。
成績評価方法	出席、レポート、試験等により総合的に評価する。
授業外における学習方法	図書館等にある文献の利用。
教材・参考文献	講義時に配布する。[参考図書] 地球進化学 地球の歴史を調べ、考え、そして将来を予測するために (指田勝男ほか編) 古今書院
オフィスアワー・連絡先	質問は随時受け付ける 角替 敏昭 tsunogae at geol.tsukuba.ac.jp http://www.geol.tsukuba.ac.jp/~gansekihp/index.html
履修者へのメッセージ	特になし

授業科目名	キャリアデザイン IIa~働く自分		
科目番号	1C26110	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	集中
担当教員	五十嵐 浩也		
授業概要	地元企業における 1 種間程度の就業体験 (インターンシップ) と事前・事後教育を通じて、働くこと及び社会で求められる基礎的な態度や能力についてリアルに体感するとともに、自身の学群以降のキャリア形成について考えを深めることを目的とする。同時に大学時代という時間の有限性を再認識し、学修と学生生活両面における能力開発目標や行動目標の設定、意欲の向上を支援する。		
備考	(ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター キャリアサポート部門企画) 6/22,10/5,8/11 CDP 夏季休業中に 5 日間のインターンシップを行う。【受入上限数 30 名】		
授業形態	その他		
科目群	C		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	(授業概要に記載)		
到達目標	1. 「働く自分」のイメージを現実化し、社会で求められる基本的な態度や能力について考察できる。 2. 大学時代に学修・学生生活を通して高めるべき自身の能力開発目標が設定できる。 3. 人生における「今」の貴重さに気づき、有意義な学生生活を過ごすことに対する意欲を向上させる。		
キーワード	キャリア形成支援, キャリアポートフォリオ (CARIO)		
各回授業計画	<p>第 1 回【6 月 22 日 (水) 特設 (18:15-19:30) キャリアサポート部門】 [オリエンテーション] 本授業の目的と進め方、就業体験の内容等について確認する。インターンシップ期間の希望調査を行うので、必ず出席すること。出席不可能で履修を希望する場合は、事前に必ず連絡すること。</p> <hr/> <p>第 2 回【8 月 11 日 (木・祝) 3 限~5 限 キャリアサポート部門】 [事前講座] 就業体験を有意義なものとするために、 1. どのような目的を持って臨むべきかについてグループワーク、クラス討議を通して考えを広げ、深める。 2. 社会で必要とされる基本的なマナーやコミュニケーションのルールを学ぶ。 3. 就業体験に臨む姿勢、行動についての目標を定める。</p> <hr/> <p>第 3 回【就業体験 5 日間】 地元企業における連続 5 日間の就業体験。実習先はオリエンテーション時に説明する。 *9 月 5 日週、9 月 12 日週、9 月 26 日週を予定。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 5 日 (水) 特設 (18:15-19:30) キャリアサポート部門】 [まとめ] 就業体験を振り返り、各人の気づきを共有し、今後の大学生活の目標設定につなげる。</p> <hr/> <p>第 5 回 (期末レポート提出)</p>		
履修条件	第 1 回目授業 (オリエンテーション) に必ず出席すること。 第 1 回目授業に出席できず、本科目の履修を希望する場合は必ず事前に担当教員に連絡し、相談すること。		
成績評価方法	授業への出席 (40%)、職業体験出勤 (20%)、授業への参加姿勢・振り返りシート・日報の内容 (20%)、期末レポート (20%) *ただし、職業体験の全日程に参加することを単位取得の原則とする。		
授業外における学習方法	・就業体験期間中、日報 (毎日の体験内容と感じたこと・気づいたことの振り返り) を基に内省し、翌日の就業体験にどのような姿勢・行動の修正をして臨むかを考えること。		
教材・参考文献	つくばキャリアポートフォリオ (CARIO) および CARIO の各種ワークシート。その他必要な教材は授業時に配布する。		
オフィスアワー・連絡先	メール (五十嵐浩也 igarashi.hiroya.fw@u.tsukuba.ac.jp) またはキャリアサポート部門 (チューデントプラザ 2F:就職課窓口と共通) で予約の上、随時。		
履修者へのメッセージ	実際の仕事と職場を体験してみることで、多くの気づきを得られると思います。積極的な参加を期待します。		

授業科目名	医療・生命科学とテクノロジー		
科目番号	1C23021	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 1
担当教員	磯辺 智範		
授業概要	科学は多くのテクノロジーの発達とともに発展してきており、医療も例外ではない。医療分野では、目で見えないものを可視化する、生体の機能や情報を明らかにする、あるいは失われた身体の機能を回復するためのテクノロジーが駆使されている。そこで、この科目ではテクノロジーに焦点をあて、それらが明らかにしてきた生命の姿や病態、および最新の診断・治療技術への繋がりについて解説する。		
備考	(医療開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台・異分野入門の科目		
教育目的	科学は多くのテクノロジーの発達とともに発展してきており、医療も例外ではない。医療分野では、目で見えないものを可視化する、生体の機能や情報を明らかにする、あるいは失われた身体の機能を回復するためのテクノロジーが駆使されている。そこで、この科目ではテクノロジーに焦点をあて、それらが明らかにしてきた生命の姿や病態、および最新の診断・治療技術への繋がりについて解説する。		
到達目標	1. テクノロジーが応用されたことで、何が可能になったのかを列記できる。 2. テクノロジーの特徴と独創性について説明できる。 3. 授業から得られた新たな知見について説明できる。		
キーワード	医療, 生命科学, テクノロジー, 医学史, 診断, 治療		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 久武幸司 医学医療系】 [序論及び生化学] 生命科学に関する理解は道具・モノの開発と進歩に依存していることを解説し、生化学的技術が明らかにした病気を紹介する。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 長田道夫 医学医療系】 [病理学:病気の原因を可視化するテクノロジー] 病理学は、病変を可視化することで発展してきた。講義では、病気の本態に迫る可視化技術の進歩と応用について解説する。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 榮 武二 医学医療系】 [放射線計測学] 大型装置を使用する先端医療である陽子線治療について説明し、この装置において使用される放射線計測技術について原理、問題点などを議論、考察する。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 三輪佳宏 医学医療系】 [蛍光イメージング] 様々な蛍光技術を応用して生きたままの細胞や動物をライブイメージングすることで生命科学の発見につなげる手法について、基礎から最新技術まで解説する。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 (振替授業日) 森川一也 医学医療系】 [細菌学] 細菌の生存戦略を様々な共生様式を含めて概説し、細菌や細胞内オルガネラを有用物質生産の場として利用する技術を紹介する。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 渋谷和子 医学医療系】 [免疫学] モノクローナル抗体を用いた抗原抗体反応を利用することで蛋白の解析技術は進歩してきた。講義ではモノクローナル抗体作製技術と応用法について解説する。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 川口敦史 医学医療系】 [ウイルス学] ウイルスの増殖と病原性発現の分子機構について概説し、ウイルスを調教し、利用する技術について解説する。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 野口恵美子 医学医療系】 [遺伝医学] 病気に遺伝が関係していることをつきとめるプロセスの開発の歴史と診断に用いられるゲノム解析法を解説する。</p>		

	<p>第9回【12月12日 磯辺智範 医学医療系】 [画像解剖学] X線画像・MRI・超音波画像などの医用画像を取得するための基礎的技術を紹介し、人体構造が医用画像ではどのように見えているかを解説する。</p> <hr/> <p>第10回【12月19日 三好浩稔 医学医療系】 [人工臓器学, 再生医工学] 種々の人工臓器に関する現状やそのメカニズム、再生医工学の概念や、バイオ人工臓器への応用について説明する。</p> <hr/> <p>第11回【12月26日】 期末試験</p>
履修条件	なし
成績評価方法	授業時間内レポート(評価割合 100%):各回の課題に対する理解力と展開能力を評価する。
授業外における学習方法	授業で触れた内容について、文献等を検索し、より理解を深める。
教材・参考文献	S.J. ライザー(春日倫子訳):診断術の歴史. 平凡社(1995) 新津 守:MR・超音波・眼底 基礎知識図解ノート. 金原出版(2012) 池内 了:科学・技術と社会. 放送大学教育振興会(2003)
オフィスアワー・連絡先	随時 磯辺智範:4B 401、90771(学内 PHS)
履修者へのメッセージ	医療と生命科学に対する大いなる好奇心と探求心をもって講義に参加して欲しい。

授業科目名	ヒューマンハイパフォーマンスを引き出す最新スポーツ科学(2)		
科目番号	1C24211	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 1
担当教員	征矢 英昭, 大森 肇, 岡本 正洋		
授業概要	スポーツ科学の進歩はオリンピックを目指すアスリートのみならず、日常生活を営む我々においても有益である。特に近年、続々と明らかにされるスポーツ科学の知見は、現代社会が直面する青少年の体力や意欲の低下、アスリートやビジネスマンのオーバーワークによる生産性と意欲の低下、高齢者の健康や生きがいの低下など、「人と社会の活力低下問題」解決につながる可能性を秘める。本講義では、認知機能を高める運動プログラムや意欲を高める運動用具など、心身の活力を最大限に引き出す(ヒューマンハイパフォーマンス)最先端の生命・認知脳科学を導入した次世代健康スポーツ科学について紹介する。		
備考	(体育開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台 学際的科目		
教育目的	人の能力には体力や技術だけでなく、ストレス対処能、コミュニケーション能、認知パフォーマンス、代謝能力など様々な能力があるが、それらを最大化するためには、これまでの運動、栄養、休養(睡眠)の質と量を最適化しながら、適切なトレーニングを開発し、用いることで実現できる、その概念や基盤技術について考える。		
到達目標	ヒューマン・ハイ・パフォーマンスを引き出す基盤技術や方略について理解する		
キーワード	心身の活力の最大化, ヒューマン・ハイ・パフォーマンス, 最先端健康スポーツ科学, 最先端生命科学, 認知脳科学, ストレス, オーバートレーニング, 中枢疲労, 高意欲		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 高橋英幸 国立スポーツ科学センター】 [国立スポーツ科学センター (JISS) におけるスポーツ科学を活用した国際競技力向上支援 1(特別講義)]</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 平野裕一 国立スポーツ科学センター】 [国立スポーツ科学センター (JISS) におけるスポーツ科学を活用した国際競技力向上支援 2(特別講義)]</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 浅井 武 体育系】 [先端スポーツテクノロジー (スポーツ工学)]</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 松田昭博 システム情報系】 [競技スポーツにおける用具開発 (スポーツ工学)]</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 (振替授業日) 高木英樹 体育系】 [ヒューマンハイパフォーマンスを引き出すスポーツテクノロジー (バイオメカニクス)]</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 松井 崇】 [脳グリコーゲン:ヒューマンハイパフォーマンスを実現するための貯蔵エネルギー源 (脳科学)]</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 岡本正洋 体育系】 [運動と認知機能 (脳科学)]</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 清水 諭 体育系】 [からだからの思考 (スポーツ社会学)]</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 12 日 林 洋輔 大阪教育大学】 [創れ! 『HHP 活動コンセプト』:橋田邦彦のポテンシャル (スポーツ哲学)]</p> <hr/> <p>第 10 回【12 月 19 日 征矢英昭 体育系】 [HHP 総論]</p>		
履修条件	春期も履修することで全体像を理解してもらいたい		
成績評価方法	A 出席率 B 受講カードの提: 講義内容の理解、課題への興味、関心、考察力 C 課題レポート: 理解、応用力、創造力 A, B, C を総合的に評価する		
授業外における学習方法	体芸図書館の蔵書を読む、担当教官への質問と議論 (オフィスアワーやメールの利用)		
教材・参考文献	征矢ら編著、使えるスポーツサイエンス、講談社サイエンティフィック 征矢、尾縣 監訳、中長距離の科学的トレーニング、大修館書店 勝田、征矢編著、運動生理学 20 講、朝倉書店 「体育の科学」(月間)、杏林書院など		

オフィスアワー・連絡先	征矢 英昭 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること 体育系 A303 0298532620 hsoya at taiiku.tsukuba.ac.jp http://www.tsukuba-brainfitness.jp/ 大森 肇 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること ohmori at taiiku.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	なし

授業科目名	心の実験室 2		
科目番号	1C07021	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	山田 一夫		
授業概要	一口に心理学といっても、様々な専門分野がある。本講義では、各分野の研究から身近なわかりやすいトピックを選び、関連した著名な実験や調査、事例などから得られた知見を、研究法も含めて解説する。		
備考	(心理開設) 人間学群学生の受講は認めない。 【受入上限数 200 名】		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	心理学は高校までの授業にはありません。皆さんは心理学にどのようなイメージをいただいていますか。一口に心理学といっても、様々な分野があります。本講義は、それぞれの分野から独立したトピックを紹介し、心理学の学問としての面白さを幅広く理解してもらおうという趣旨で企画されました。心理学がどのような問題をどのような方法で追究してきたのか、またその結果、どのようなことが明らかになってきたのか、代表的な実験、観察、調査、心理測定などの理解を通して知ってもらいたいと思います。		
到達目標	1 心理学の研究トピックを幅広く学習することを通して、心理学がどのような学問であるのか、その全体像を理解できるようになる。		
キーワード	心理学, 心, 行動, 社会, 脳・神経		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 一谷幸男 人間系】 [イントロダクション・動物の記憶・ヒトの記憶] 記憶の脳メカニズムがどのように研究されているか、動物実験による行動研究を中心に紹介します。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 綾部早穂 人間系】 [嗅覚心理学] 快いニオイがすると、楽しくなったり、幸せを感じたりしますか。」「新しい本のニオイをくんくん嗅ぎますか。」「不快なニオイのする人に対しては魅力を感じない。」あなたは、どの程度あてはまりますか?</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 外山美樹 人間系】 [「やる気」を考える (1)] やる気を高めるにはどうしたらいいのでしょうか?無気力に陥るメカニズムとは?ここでは、学習の動機づけについて考えていきます。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 外山美樹 人間系】 [「やる気」を考える (2)] (第 3 回の続き)</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 佐藤有耕 人間系】 [自己愛に関するトピック (1)] あなたは自分は自己愛的だと思いますか?あなたのまわりには自己愛的な人が多いですか?自分で自己愛 (narcissism) の質問紙に回答したうえで、自己愛について考えてみましょう。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 佐藤有耕 人間系】 [自己愛に関するトピック (2)] (第 5 回の続き)</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 関谷大輝 東京成徳大学】 [観光の心理学 (1)] 観光 (tourism) には、「動機」、「目的」、「感情」、「選択」など、人間の様々な心理的要因が深く関連しています。このように、観光行動について心理学的な側面から検討する領域が「観光心理学」です。本講義では、観光心理学に関わる様々なトピックを概観しながら、人と旅の関係について考えましょう。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 関谷大輝 東京成徳大学】 [観光の心理学 (2) 「温泉」と心理学] 日本は俗に「温泉天国」とも言われます。われわれ日本人にとって、観光と温泉は切っても切れない関係といっても過言ではありません。では、皆さんは、温泉に何を期待しますか? 温泉と銭湯の違いは何でしょう? 本講義では、心理学の視点と方法論から温泉ツーリズムの分析を試みる「温泉心理学」研究について、知見を紹介しながら考えます。</p>		

	<p>第9回【12月12日 青木佐奈枝 人間系】 [現代社会のストレスとその支援-自殺・自傷・心的外傷 (1)] 現代社会はストレス社会と言われていますが、ここでは特に自殺や自傷行為、心的外傷とその支援について紹介します。</p> <hr/> <p>第10回【12月19日 望月聡 人間系】 [前頭前野の心理学と脳科学] ヒトにおいて発達し、最高次の機能を担っているとされる前頭前野のはたらきについて考えてみましょう。知・情・意の三側面について、心理学・脳科学の知見を紹介します。</p> <hr/> <p>第11回【12月26日 山田一夫 人間系】 期末試験</p>
履修条件	人間学群学生の受講は認めません。 「心の実験室1」「心の実験室2」をあわせて履修すると、より総合的な理解が得られる。
成績評価方法	評価方法 (評価割合) 及び評価基準 A: 定期試験 (100%)... 筆記試験による評価 B: 出席 (欠格条件)...2/3 以上の出席 到達目標 1 Aを「より重視」
授業外における学習方法	講義の内容に興味を持ったら、関連した書籍等を積極的に読んでみてください。
教材・参考文献	必要に応じて授業中に紹介します。
オフィスアワー・連絡先	kayamada at human.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッセージ	授業時間内・授業時間外を使う、実験や調査の協力を依頼されることがあります。それらを実体験することは、皆さんの学習を深めることにつながり、また皆さんの協力は心理学のさらなる発展の大事な礎です。積極的な協力を強く期待します。

授業科目名	障害と共に生きる II		
科目番号	1C08021	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	森地 徹, 宮本 昌子, 佐島 毅, 原島 恒夫, 安藤 隆男, 小林 秀之, 左藤 敦子, 熊谷 恵子, 園山 繁樹		
授業概要	障害科学が蓄積してきた知見と最新の研究を主に発達・行動・生活支援の観点から紹介する。人間の生活行為は、認知機能や言語機能、運動機能などの諸機能がさまざまに関連しあって実現している。障害のある人の支援方法を学ぶことで、障害のある人もない人も共に「自立」と「自己実現」の可能な社会とはどのような社会なのかについて、受講生が自ら考える機会を提供したい。		
備考	(障害科学開設) 人間学群学生の受講は認めない。 【受入上限数 200 名】		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	本講義では、障害科学が蓄積してきた知見と最新の研究を、主に発達・行動・生活支援の観点から紹介する。人間の生活行為は、認知機能や言語機能、運動機能などの諸機能がさまざまに関連しあって実現している。障害のある人の支援方法を学ぶことで、障害のある人もない人も共に「自立」と「自己実現」の可能な社会とはどのような社会なのかについて、受講生が自ら考える機会を提供したい。		
到達目標	1 障害のある人たちの抱えている困難とそれに対する支援の在り方について具体的に答えることができる。 2 障害のある人たちやその支援の在り方に関心を示す。		
キーワード	障害のある人たち・発達・生活支援・自立		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 宮本 昌子 人間系】 [言語障害の理解と支援] 言語障害のある者の障害特性や支援の実際について解説し、その在り方についての考察を促す。</p> <p>第 2 回【10 月 17 日 佐島 毅 人間系】 [視覚に障害のある乳幼児の学びを支える] 指先を目とする盲児。彼らの育ちをどのように支えたらよいか、実際の映像をみながら解説し、乳幼児の学びの本質を捉えたい。</p> <p>第 3 回【10 月 24 日 小林 秀之 人間系】 [弱視の理解] 一般的に視覚障害は「目が見えない」障害として捉えられていることが多く、弱視という状態についての理解や関心は低い。このような状況の中で、弱視についての理解を促す。</p> <p>第 4 回【10 月 31 日 安藤 隆男 人間系】 [肢体不自由児の指導と教育] 地域の小学校等の通常学級に学ぶ肢体不自由児、とりわけ脳性まひ児の教科学習上の課題を整理し、指導上の配慮・手立てなどを紹介する。</p> <p>第 5 回【11 月 8 日 (振替授業日) 原島 恒夫 人間系】 [聴覚障害者とのコミュニケーション] 聴覚障害者とのコミュニケーションについて、聴覚障害の疑似体験とトップダウン処理の観点から理解を深める。</p> <p>第 6 回【11 月 14 日 熊谷 恵子 人間系】 [通常学級にいる発達障害児について考える] 通常の学級の中にいる発達障害に関する基本的な知識を講義し、障害と健常の連続性についても議論する。</p> <p>第 7 回【11 月 21 日 森地 徹 人間系】 [知的障害の理解とセルフアドボカシー] 知的障害のある人自身による権利擁護活動であるセルフアドボカシーの現状と課題について紹介する。</p> <p>第 8 回【12 月 5 日 園山 繁樹 人間系】 [選択性緘黙の理解と支援] 選択性緘黙の障害特性について解説するとともに、その障害特性に応じた支援方法、及びその実際について紹介する。</p>		

	<p>第9回【12月12日 左藤 敦子 人間系】 [聴覚障害児のことばの習得と指導] 聴覚に障害がある子どもがことばを習得していく過程について、特別支援学校(聴覚障害)における教育との関わりから紹介する。</p> <hr/> <p>第10回【12月19日 森地 徹 人間系】 まとめ:講義全体のまとめを行うとともに、受講生自らの学びを振り返り障害と共に生きる社会とは何かについて考察する</p> <hr/> <p>第11回【12月26日 森地 徹 人間系】 [期末試験]</p>
履修条件	人間学群学生の履修は認めない。障害と共に生きる I、III を合わせて履修することが望ましい。
成績評価方法	レポートと授業態度により評価する。
授業外における学習方法	授業配布資料と紹介文献の精読、受講者同士との討論で問題意識を深めること。
教材・参考文献	授業時に適宜紹介する。
オフィスアワー・連絡先	連絡先等は授業時に周知します。
履修者へのメッセージ	遅刻した学生は、授業態度を減点しますので、遅れないよう出席してください。

授業科目名	沙漠		
科目番号	1C10061	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	川田 清和		
授業概要	<p>沙漠・乾燥地が地球全体の陸地面積に占める割合は 1/3 で、しかも拡大している。本講ではその自然や問題点そして人類とのかかわりについて考える。前半は地球温暖化、沙漠化・土壌劣化、また生育する生物の多様性や有用性、緑化の可能性などについて述べる。後半はそこに生活する人々の社会や文化に関して述べる。</p>		
備考	<p>(資源開設) 【受入上限数 200 名】</p>		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台。異分野入門的科目		
教育目的	<p>地球上の乾燥地域は陸地の 1/3 と広大な面積占めているが、人間による不適切な自然環境の利用により乾燥地域が拡大する傾向が続いている。21 世紀に生きる人類にとっては、その地域の自然環境やそこに住む人々を良く知り、悪化を食い止めたまた上手に利用していくという知恵が求められている。本科目では、様々な研究分野を通じて沙漠や乾燥地に関する多様な価値観を学び、国際的・学際的視野を広げることを目的とする。</p>		
到達目標	<p>沙漠の過酷な自然環境の現状、そこに働きかけようとする努力、そこに存在する生物の多様性、そこに生活する民の状況・考え方を学ぶ。 日本とは全く異なる自然環境や文化、価値観を学び、世界の多様性を知る。 沙漠や乾燥地に関心を持ち、1 つの課題について多角的な視点から自らの言葉で説明することができる。</p>		
キーワード	乾燥地, 沙漠化, 水環境, イスラーム, 生物多様性		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 川田清和 生命環境系】 [ガイダンス] 本科目の意義や目的等を説明し、沙漠や乾燥地の基礎知識を身につけるため自然環境や生活環境の特徴を紹介する。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 川田清和 生命環境系】 [乾燥地の生物多様性] 乾燥という厳しい環境に生きるため、独特の進化を遂げた多様な生物たちの姿を紹介する。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 藤村達人 生命環境系】 [乾燥地農業の現状と課題] 乾燥地で農業を行うために人間が引き起こした環境問題を紹介し、乾燥地で行われている灌漑農業の現状と今後の課題について説明する。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 石川尚人 生命環境系】 [沙漠化の原因分析] 黄砂の原因地周辺の中国内蒙古草原が沙漠化した原因について、これまでに指摘されてきた要因と最近得られた知見について解説する。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 (振替授業日) 礪田博子 北アフリカ研究センター】 [乾燥地有用生物資源の探索] 乾燥地生物資源から、バイオテクノロジーを用いて人の健康維持を目指した有用成分を探索する具体例を紹介する。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 辻村真貴 生命環境系】 [乾燥地の水資源と水環境] 乾燥地における水の特性に関し、量と質から解説するとともに、地表水と地下水を水循環系の中で説明し、持続可能な水資源管理・利用とは何かについて講義する。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 柏木健一 人文社会系】 [パレスチナ問題の根本的要因:水と土地の争い] ヨルダン川西岸ガザにおける水と土地の争いからパレスチナ問題の根本的要因を説明する。特に、水資源の希少性が貧困とテロの悪循環を引き起こすメカニズムを地政学的観点から説明する。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 田村憲司 生命環境系】 [沙漠の土壌] 沙漠の土壌に関する特徴を説明し、乾燥地における土壌保全に必要な課題について述べる。</p>		

	<p>第9回【12月12日 青柳悦子 人文社会系】 [沙漠と文学] サハラ沙漠の歴史と文化、およびサハラ沙漠を舞台にした文学作品を紹介する。とりわけ沙漠の民であるトゥアレグ族の生き方・価値観に目を向け、その文化から私たちが学べるものについて考える。</p> <hr/> <p>第10回【12月19日 平石典子 人文社会系】 [「月の沙漠をはるばると」:想像力の磁場としての沙漠] 日本に沙漠がどのように紹介され、どのようなイメージが形象れてきたかを分析しながら、エキゾティシズムとロマンティシズムに溢れる想像力の磁場としての沙漠について考察する。</p> <hr/> <p>第11回【12月26日 川田清和 生命環境系】 [期末試験] 沙漠に関する小論文を試験時間に書く。あらかじめ講義のテーマの中から一つを選び、それを膨らませた構想を練り、調査等をして準備をしてくる。本授業科目は、森林、草原と3部作の兄弟科目です。</p>
履修条件	なし
成績評価方法	<p>講義を6回以上出席することは必須。 毎回講義終了時に、その日の内容を元に、各自が考えたことを小レポートとして提出してもらいます(内容により各回加点)。 期末試験で講義を元に、各自が膨らませた考えや、調査などの努力がうかがえれば高ポイントを付与します(内容により加点)。 これらを総合して成績評価とします。</p>
授業外における学習方法	図書やTV等の他のメディアを利用して、沙漠やイスラームなどに積極的に予習してください。
教材・参考文献	<p>特に指定しません。例えば: 「水不足が世界を脅かす」(サンドラ・ポステル著、家の光社) 「砂漠緑化への挑戦」(遠山枉雄、読売科学選書) など</p>
オフィスアワー・連絡先	<p>総合研究棟 A510 随時 kawada.kiyokazu.gu at u.tsukuba.ac.jp http://www.arena.tsukuba.ac.jp/index.html</p>
履修者へのメッセージ	<p>異文化、未知の環境などを積極的に見聞き考えましょう。 受講生が「考える」ことを求めます。 各回の後の小レポート、期末試験ともに講義に基づいて各自が「考えた」ことが明示されていれば加点されます。</p>

授業科目名	都市・地域・環境を探る II		
科目番号	1C17111	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	大澤 義明, 藤井 さやか		
授業概要	近年の世界的な社会経済状況の激変により、私たちの住宅や、生活する都市、地域の環境は様々な変化の圧力を受けている。この変化を受動的に受け止めるのではなく、変化のメカニズムを理解し、望ましい環境を形成する主体的な知力を身につけることが求められている。II では、国際比較からみた日本の都市の特徴、人口の将来予測、環境問題などの観点を通じて、広域的・国際的・地球環境的な視野から都市・地域・環境の問題を考える。		
備考	(社工開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台・異分野入門的科目		
教育目的	近年の世界的な社会経済状況の激変により、私たちの住宅や、生活する都市、地域の環境は様々な変化の圧力を受けている。この変化を受動的に受け止めるのではなく、変化のメカニズムを理解し、望ましい環境を形成する主体的な知力を身につけることが求められている。 II では、国際比較からみた日本の都市の特徴、人口の将来予測、環境問題などの観点を通じて、広域的・国際的・地球環境的な視野から都市・地域・環境の問題を考える。		
到達目標	A) 身近な都市・地域・環境の問題を発見できる B) 発見した問題について、その原因や影響を分析し、説明できる C) 問題を解決するための方法を考え、提案 (プレゼンテーション) できる		
キーワード	都市, 地域, 環境, まちづくり, つくば		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 有田智一 システム情報系】 [国際的にみた日本の都市] 国際的視野の下での都市の比較考察を行い、現在のわが国の都市の抱えている問題を考える。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 小山泰代 社会保障人口問題研究所】 [人口予測からみた日本の都市の将来] 日本の人口の将来予測からみた都市の将来について解説する。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 谷口守 システム情報系】 [持続可能なまちづくり] 持続可能なまちづくりの考え方、環境負荷を低減する政策について解説する。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 不破正仁 東北工業大学】 「屋敷林保全による景観・環境形成」 農村集落における屋敷林の樹木構成や変容過程から、地域固有の景観・環境形成について考える。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 寺田徹 東京大学】 [都市近郊の里山の現代的利用] 都市近郊にある里山の果たしている役割やバイオマス利用について考える。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 田頭直人 電力中央研究所】 [都市とエネルギー] 都市とエネルギーの関連に関する概略を説明した後、近年のスマートコミュニティ事業の概要、その重要な構成要素の一つである電気自動車の活用方法等について、紹介する。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 鈴木勉 システム情報系】 [地球環境問題とアジア大都市の計画課題] 環境問題の変遷、エネルギー資源・地球環境問題、エネルギー消費の現状と利用効率化のための対策を概観し、都市計画との関わりとアジア大都市における計画課題について論じる。</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 甲斐田直子 システム情報系】 [アジアの環境問題と国際協力] アジア諸国における環境管理能力の形成と国際環境協力について講義する。</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 12 日 太田充 システム情報系】 [都市・地域・環境の経済学] 都市・地域における人間の活動を分析し、環境問題を解決する手段としての経済学について講義する。</p>		

	<p>第 10 回【12 月 19 日 担当教員全員】 [講評会] 今学期の課題について講評するとともに、数名の講師による討議を行う。</p> <hr/> <p>期末試験は実施しない</p>
履修条件	「都市・地域・環境を探る I 及び III」とあわせて履修すると、より総合的な理解が得られる。
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・60% 以上の出席が必須 (遅刻は減点対象となる) ・授業内課題及び授業態度 (60%)・・・講義内容の理解度及び積極的な参加姿勢 ・課題 (レポート)(40%)・・・問題発見と解決策の独創性、説明力、表現力、プレゼンテーション力
授業外における学習方法	講義中で紹介する文献・資料を読み、いろいろなまちを実際に歩いて観察する。
教材・参考文献	講義の中で、適宜指定する。
オフィスアワー・連絡先	大澤 義明 osawa at sk.tsukuba.ac.jp http://infoshako.sk.tsukuba.ac.jp/~toshiw3/Labo/Koshizuka/ 藤井 さやか fujii at sk.tsukuba.ac.jp 各回講師の連絡先は、講義中に案内する。
履修者へのメッセージ	身近な都市・地域・環境に興味関心を持ち、普段の生活を振り返りながら講義に取り組んでほしい。

授業科目名	キャリアデザイン IIIb~学問と自分		
科目番号	1C26121	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	五十嵐 浩也		
授業概要	学年が進行し、授業科目が徐々に専門的な学びへと深化していく中で、改めて自分にとって学ぶことの意味を考える。このことを通じて、限りある貴重な大学生活を充実させるきっかけとするとともに、将来的に自らのキャリアに学問分野を位置づけるための準備をする。グループ共有やクラス討議、グループ活動を通して、キャリアデザインに必要なコミュニケーション力、情報収集・活用力を発展させる。		
備考	(ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター キャリアサポート部門企画) CDP 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	(授業概要に記載)		
到達目標	1 「自分にとっての学問」について現時点での考えを自分なりに表現できるようになること 2 キャリアという視点から学生生活をとらえ直すことで、大学で学ぶべきことを考え、今後それを実践することができるようになっていくこと。		
キーワード	キャリア形成支援, キャリアポートフォリオ (CARIO)		
各回授業計画	<p>授業前半:専攻や学問選択の理由の振り返り、学問を活かせる場の調査、自己成長診断システム (sagasu) による現時点での強みと弱みの棚卸等を行い、学問と自分、学問と将来とのつながりについて考えを深める。</p> <p>授業後半:グループプレゼンテーションと全体討議。5~6 人単位のグループで、情報収集取材を行い現時点での学問との付き合い方について発表後、クラス討議を行う。</p> <p>第 1 回【10 月 3 日 (月) キャリアサポート部門】 [オリエンテーション] 学問と自分の接点を考えることの意味・意義、全体の講義の進め方などを確認する</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 (月) キャリアサポート部門】 [学問と自分のつながり 1] 現在の学問を選んだ理由やその選択過程を振り返り、学問と自分のつながりについて考える</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 (月) キャリアサポート部門】 [学問と自分のつながり 2] 学ぶ目的と現状とのギャップを踏まえて、これから「何」を「どう」学ぶかを考える</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 (月) キャリアサポート部門】 [学問と将来のつながり 1] 学問を自らの専門に位置づけるためにどのような情報が必要かを確認し、情報収集の方法を学ぶ</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 (火) キャリアサポート部門】 [学問と将来のつながり 2] インタビュー結果の共有を通して、学問と将来のつながりを考えるための視野を広げる</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 (月) キャリアサポート部門】 [これからの学び方 1] 後半に取り組むグループ課題の発表とグループ分け、テーマ設定を行う</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 (月) キャリアサポート部門】 [これからの学び方 2] グループ発表に向けた準備を行う</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 (月) キャリアサポート部門】 [これからの学び方 3] グループ発表とクラス討議を行う</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 12 日 (月) キャリアサポート部門】 [これからの学び方 4] グループ発表とクラス討議を行う</p>		

	<p>第 10 回【12月 19 日 (月) キャリアサポート部門】 [まとめ] 授業全体を振り返り、「学問」と「自分」との関係の築き方について討議を行う</p> <hr/> <p>第 11 回 (期末レポート提出)</p>
履修条件	必須ではないが、キャリアデザイン I を履修していることが望ましい。
成績評価方法	出席 (60%)、授業 (討議、プレゼンテーションなど) への参加状況・毎回の振り返りシートの内容 (20%)、期末レポート 20% ただし、単位取得のためには最低 6 回以上の出席と期末レポートの提出を要する。
授業外における学習方法	先生インタビューや、個人ワーク、グループワークの振り返り、グループ発表準備など。授業中に指示をする。
教材・参考文献	つくばキャリアポートフォリオ (CARIO) と CARIO の各種ワークシート。その他必要な教材は授業時に配布する。
オフィスアワー・連絡先	授業担当教員へメール (五十嵐浩也 igarashi.hiroya.fw@u.tsukuba.ac.jp) またはキャリアサポート部門 (スチューデントプラザ 2F:就職課窓口と共通) で予約の上、随時。
履修者へのメッセージ	グループディスカッションやプレゼンテーションを通じて自分の考えを話し・仲間とシェアする時間を多く設けていますので、たくさんのフィードバックを得られます。積極的な参加を期待します。

授業科目名	スポーツ医学とは?フロントランナーに聞いてみよう!!		
科目番号	1C21201	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 C 月 1,2
担当教員	竹越 一博		
授業概要	スポーツ医学のフロントラインで教育・研究をおこなっている教員より、その最新の医学事情を学び、今後のスポーツ分野あるいは医療分野においてスポーツ医学の果たす役割について理解する。		
備考	(医学開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	スポーツ医学は実に多様な広がりを持つ分野です。本講座では、そんなスポーツ医学の「多様性」に焦点を当てて授業を講師の先生方にお願しました。講師の先生方は、スポーツ医学のフロントラインで教育・研究をおこなっている研究者でもあり、全員が本学スポーツ医学の教官でもあります。 本講座を通じて最新の研究成果を学び、今後のスポーツ分野あるいは医療分野においてスポーツ医学の果たす役割について理解していただけたらと思います。		
到達目標	1 スポーツ医学の多様性を理解する。 2 学際系学問の楽しさを理解する。		
キーワード	スポーツ医学の多様性、学際系学問の楽しさ		
各回授業計画	<p>第 1 回【1 月 17 日 (振替授業日) 金森活章 医学医療系】 [どうして捻挫はくせになるのか] スポーツの現場でよくみられる“捻挫”は癖になるといわれます。なぜでしょうか?この講義ではスポーツでのケガについてわかりやすく解説します。</p> <hr/> <p>第 2 回【1 月 17 日 (振替授業日) 高橋義雄 体育系】 [スポーツ医学の歴史社会学] スポーツ医学の歴史と時代におけるその役割について医療技術や医科学の知見の発達を概観しながら解説する。そしてドクターとメディカルスタッフを社会学やマネジメントの視点から考察する。</p> <hr/> <p>第 3 回【1 月 23 日 徳山薫平 体育系】 [チャンピオンの遺伝子] 「天性の素質」が運動能力を左右する大きな因子であることは、競走能力に基づいて選択交配を繰り返してサラブレッドが完成された例によって端的示されている。1990 年代に始った遺伝子レベルでの研究は新たな展開を見せ、また同時に新たな問題を提起している。</p> <hr/> <p>第 4 回【1 月 23 日 田中喜代次 体育系】 [減量の功罪、肥満研究の必要性、肥満ビジネスを考える] 中年肥満者の減量支援 (3 か月で男性-12kg、女性-9kg)、それに伴う各種健康指標の変化、体力年齢や活力年齢の若返り効果について解説する。起業 (株式会社 THF) も紹介する。</p> <hr/> <p>第 5 回【1 月 30 日 渡部厚一 体育系】 [スポーツと呼吸] スポーツにとって呼吸器は筋に十分な酸素を送り、二酸化炭素を排出するための重要な臓器である一方、スポーツによって影響を受ける臓器でもある。呼吸器疾患として、気管支喘息、呼吸器感染症、過換気症候群、睡眠時無呼吸症候群等を挙げ、これらの疾患とスポーツとの関係を解説することにより、スポーツにおける呼吸の重要性について理解を深める。</p> <hr/> <p>第 6 回【1 月 30 日 宮本俊和 人間系】 [今、何故、パラリンピック!] 1 パラリンピックを巡る背景と課題、2 ブラインドパラスポーツの紹介、3 筑波大学のパラリンピックに向けた競技支援の取り組みについて講義しています。</p> <hr/> <p>第 7 回【2 月 6 日 白木仁 体育系】 [トップアスリートに対するアスレティックトレーナー活動] オリンピック、世界選手権、トッププロの選手は、競技力の向上を目指し日々トレーニングに励んでいます。そのためのフィジカル面からのサポートを行うのが、アスレティックトレーナーです。本講義では、オリンピック選手などのトップアスリートへのトレーナー活動について解説する。</p>		

	<p>第8回【2月6日 小林裕幸 医学医療系】 [自転車競技オリンピックチーム医科学サポート] 日本自転車競技連盟のチームドクターならびに医科学委員としての経験をふりかえり、自転車トップアスリートに対する世界大会、オリンピックなどの医科学サポートの現状を紹介する。</p> <hr/> <p>第9回【2月13日 前田清司 体育系】 [睡眠と競技パフォーマンス] 疲労回復や記憶の定着に重要な役割を果たしている睡眠は、スポーツの競技パフォーマンスに影響を与える。本講義では、睡眠と競技パフォーマンスの関係について概説する。</p> <hr/> <p>第10回【2月13日 竹越一博 医学医療系】 [ホルモンから考えるアンチドーピング] アンチドーピングにおける最近の禁止物質はホルモンが多いです。内分泌医(ホルモン屋)の立場から、禁止物質を考えます。</p> <hr/> <p>第11回 [期末試験なし] レポート提出</p>
履修条件	特になし。
成績評価方法	レポート(100%) 特に興味を持った講義を1つ選びレポートを出す。
授業外における学習方法	特になし。
教材・参考文献	特になし。
オフィスアワー・連絡先	竹越一博 木曜日 15-16時 研究室 医学医療系学系棟 104
履修者へのメッセージ	スポーツ医学のフロントラインで教育・研究をおこなっている本学教官より、その最新の医学事情を学び、今後のスポーツ分野あるいは医療分野においてスポーツ医学の果たす役割について理解する。講師の先生方は皆さん本学の教員ですから、授業で興味を持った方は、話を聞きに行くといいでしょう!

授業科目名	ストレスとうまくつき合おう		
科目番号	1C24191	単位数	1.0 単位
標準履修年次	1・2 年次	時間割	秋 C 月 1,2
担当教員	橋本 佐由理		
授業概要	<p>ストレスは私たちのエネルギー源である。ストレスのエネルギーを使うと、学習、自己成長、チャレンジ、健康につながり、仲間との連携や友情、愛を深めることもできる。しかしながら、時にストレスのエネルギーによって、身体不調やメンタルヘルスの不調、不健康行動や問題行動を抱えてしまうこともある。日常生活を有意義に送るためにも、スポーツや運動にも、また、心身の健康のためにも、ストレスを上手に活用する力やストレス耐性、ストレス回復力(レジリエンス)が欠かせない。本講義では、ストレスとうまくつき合うために必要な知識とスキルについて講義する。</p>		
備考	(体育開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	C		
水準・区分	100 番台・学際的科目		
教育目的	<p>ストレスの定義は、定まった定義はないとも言える。それは、どのような分野から講じるかにより、その定義も異なるためだ。本講義では、ストレスについて、さまざまな分野の専門家から講義を受けることにより広く知識を得る。そして、その知識を生活の中で活かすためのスキルも演習し、学生自身の日常生活や生き方と結びつけながら、うまくストレスとつき合い、心身ともに健康で、自己実現をしていくにはどうすればいいのかを体験知を得ながら、理解し学習する。</p>		
到達目標	<p>1. ストレスについて理解する 2. ストレスマネジメント、ストレスコントロール、セルフコントロールのための理論とスキルを習得する。</p>		
キーワード	<p>ストレス、ストレス耐性、レジリエンス、人間関係ストレスマネジメント、バーンアウト、ストレスコントロール、セルフコントロール、自律訓練法、キャリア・ストレス</p>		
各回授業計画	<p>第 1 回【1 月 17 日 (振替授業日) 橋本佐由理 体育系】 [オリエンテーション] はじめに授業のねらいと進め方などについて説明する。 [ストレスとは] " ストレスとは何か? " " 私たちは、なぜストレスを抱えるのか? " について理解しよう。皆さん自身のストレス耐性やストレス回復力を心理尺度で測定しながら学ぶ。</p> <hr/> <p>第 2 回【1 月 17 日 (振替授業日) 橋本佐由理 体育系】 [人間関係ストレスマネジメント] 人間関係のストレスは「相手実物」というよりも、ストレスを感じている自分の思い込みによって捉えた「相手像」によって作られている。したがって、人間関係ストレスは自分自身の考え方や感じ方が変われば軽減できるのだ。実際に体験してみよう。</p> <hr/> <p>第 3 回【1 月 23 日 吉井奈々 ジェンダーキャリアデザイン】 [バーンアウトしないための人との接し方] 真面目な人、頑張り屋さんが陥るバーンアウトへの対策。ホスピタリティー精神は人のためではなく、自分のためと心掛けることで人と接する事への緊張やストレスをコントロールする。また、会社と家庭、仕事とプライベートのバランスの取り方</p> <hr/> <p>第 4 回【1 月 23 日 吉井奈々 ジェンダーキャリアデザイン】 [「はじめまして」に強くなり「出会い」を味方にする] 人との接し方、コミュニケーションが苦手と思い込み出会いを味方にできずチャンスを逃す、苦手意識から人との関わりを避け社会ストレス、対人ストレス、自分への不安を抱え落ち込んで塞ぎ込んでしまう。ではどうすれば「はじめまして」に強くなり、第一印象を操作し、好印象で「また会いたくなる人」になれるのか。</p> <hr/> <p>第 5 回【1 月 30 日 水上勝義 体育系】 [ストレスに強くなる] ストレス耐性に影響するストレスコーピング、対人スキル、自己効力について学習する。</p> <hr/> <p>第 6 回【1 月 30 日 水上勝義 体育系】 [ストレスによる心身の不調] ストレスによってこころや身体に不調が生じるメカニズムや、ストレスによって生じるこころやからだの不調について学習する。</p>		

第7回【2月6日 坂入洋右 体育系】

["身心"のセルフコントロール:理論]

身体と心の状態をベストなコンディションに調整することは、ストレスマネジメントに限らず勉強や仕事においても、健康を維持し能力を十分に発揮するために重要なことである。自分の身体をうまく活用して心を最適な状態に調整するセルフコントロールの理論と技法を学び、ストレスマネジメントだけでなく、試験やスポーツなどの重要な場面における実力発揮に役立てよう。

第8回【2月6日 坂入洋右 体育系】

["身心"のセルフコントロール:実技]

「心のダイアグラム」を活用して自分の心理状態に気づき(セルフモニタリング)、それを筋弛緩法や呼吸法などの身体技法を活用して自分で調整する「"身心"のセルフコントロール」について体験的に学ぶ。また、自分の身体と心をモニタリングすることで最適な状態に調整するための体系的な技法として、自律訓練法についても解説する。

第9回【2月13日 平田しのぶ】

[自分自身の強みを活かしたストレスマネジメント]

本来の自分自身のリソース(資源)である“強み”に着眼し、それが社会や集団の中でどのように機能するのかを考えることで、自分自身の価値をあらためて見直す。また、その強みや自分の資質を言葉で表現し、自己理解にとどまらず他者理解を深め、関係性を円滑にすることを学ぶ。

第10回【2月13日 平田しのぶ】

[チームの強みを活かしたストレスマネジメント]

個人の強みをチームとして相乗的に発揮することは、スポーツにおいても組織(会社)においてもおいに求められる。ストレスを最小に、効果を最大にするために自分をどのように活かし、チームをどう作っていくのかを様々な方法を用いながら体験的に学ぶ。

履修条件	なし
成績評価方法	出席率と各回のレポート内容
授業外における学習方法	なし
教材・参考文献	講義ごとに紹介する
オフィスアワー・連絡先	金曜日 13:00~15:00 hasimoto at taiiku.tsukuba.ac.jp http://www.hcs.tsukuba.ac.jp/~hasimoto/index.htm
履修者へのメッセージ	ストレスは嫌われることが多いのですが、私たちはストレスがなければ、行動のためのエネルギーもわかりません。ストレスが悪いのではなく、ストレスをうまく活用したり、ストレスとうまくつき合うことができずに困っているだけなのです。“何だか自分らしくない生活をしている”、“なかなかエネルギーが出ない”、“自分の力がうまく発揮できない”、“人間関係がうまくいかない”、“キャリアに悩んでいる”・・・という方は、本講義を受講し、現在の大学生活と未来をエンjoyするための糧にしてください。